

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 山口 健一

提出年月日 2011 年 4 月 25 日

**【プロジェクト名】**

和文

在日朝鮮人／在韓中国朝鮮族社会における親密圏・公共圏の変容

英文

Transformation of Intimate and Public Spheres in the Zainichi-Korean /  
Zaikan-Chosenzoku Society

**【メンバー構成】**

研究代表者

幹事 山口 健一

メンバー 李 洪章、孫片田 晶、山根 実紀、橋本 みゆき、権 香淑、山本 崇記、  
金 泰植

**【ねらいと目的】**（600 字程度）

植民地支配 - 被支配の歴史を有する在日朝鮮人／在韓朝鮮族の「親密圏と公共圏の変容」を明らかにすべく、多角的な視点から以下の研究を行った。

- (1) 朝鮮籍在日朝鮮人の法的地位とナショナル・アイデンティティに関する研究(李)
- (2) 就職差別に対する在日朝鮮人の生存戦略に関する経験的研究(孫片田)
- (3) 在日朝鮮人と日本人間の「内鮮結婚」に関する歴史社会学的研究、および国際結婚に関する実証的研究(橋本)
- (4) 在日朝鮮人 - 日本人間の公共圏形成に関する経験的研究、および在日朝鮮人 - 日本人間の公共圏におけるコミュニケーション様式の経験的研究(山口)
- (5) 在日朝鮮人集住地域(東九条)におけるマイノリティ運動の形成過程とその内実・現状に関する研究(山本)
- (6) 東九条オモニ学校における、教育・ジェンダー・民族をめぐる重層的権力関係を超克する取り組みに関する研究(山根)
- (7) 在日中国朝鮮族・在韓中国朝鮮族のエスニシティに関する研究 (権)
- (8) 映画をはじめとした韓国メディアにおける在日朝鮮人表象に関する研究(金)

**【活動の記録】**

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

8月6-8日 第3回 ソウル大学 - 京都大学国際学術ワークショップ「コリアン・ディア  
スポラの親密圏と公共圏」

8月6日

在外同胞法と韓国における外国人の法的地位変遷の関係

佐藤 暁人(ソウル大学社会科学大学社会学科博士課程)

在日朝鮮人の文化的記憶の形成と変容——韓国における反共映画の事例から——

金 泰植(九州大学大学院比較社会文化学府博士課程)

韓国国民の内と外——朝鮮植民地解放後の在日朝鮮人を手がかりに——

金 聖一(ソウル大学社会科学大学社会学科博士課程)

民族間結婚による親密圏の形成と「近さ」の再編——日本人女性と結婚した在日朝鮮人  
男性の2つの事例から——

橋本 みゆき(立教大学兼任講師)

1970年代以降の識字運動の形成と実践——京都・九条オモニ学校を事例として——

山根 実紀(京都大学大学院教育学研究科修士課程)

民族的マイノリティの居住と集合行為に関する研究——「不法占拠」と在日朝鮮人——

山本 崇紀(立命館大学衣笠総合研究機構ポストドクトラルフェロー)

8月7日

韓国言論での朝鮮族再現に関する研究

吳 昶学(ソウル大学社会科学大学言論情報学科修士課程)

解放直後韓国と日本での在日同胞の法的地位問題

金 成姫(ソウル大学社会科学大学社会学科修士課程)

在日学生組織「韓学同京都」：「在日朝鮮人」性の相互行為と再構築の社会的空間——エ  
スニック・アイデンティティの学習的モデルの事例として——

孫・片田 晶(京都大学大学院文学研究科博士課程)

在韓中国留学生の現状と特性に関する研究——漢族、朝鮮族留学生比較を中心に——

朴 祐(ソウル大学社会科学大学社会学科博士課程)

朝鮮籍在日朝鮮人青年のナショナル・アイデンティティと連帯戦略

李 洪章(京都大学大学院文学研究科博士課程)

在日朝鮮人 - 日本人間の〈親密な公共圏〉形成——「パラムせんだい」における「対話」  
の成立条件検討——

山口 健一(京都大学大学院文学研究科グローバル COE 研究員)

8月8日

総合討論と勉強会

9月21日 出版に向けた相互査読会

**【成果の概要】**（800 字程度）

2010 年 8 月 6-8 日に、ソウル大学にて第三回国際学術ワークショップ「コリアン・ディアスポラの親密圏と公共圏」を開催した。このタイトルに関わるテーマで、本次世代ユニットから 7 名が報告し、ソウル大学側から 5 名の若手研究者が報告した。また 8 月 8 日には、親密圏や公共圏の勉強会や、ワークショップ全体の総括、将来の書籍出版に向けた議論がなされた。その結果、書籍のタイトルは、『コリアン・ディアスポラの経験と現在——在日朝鮮人／在韓中国朝鮮族社会における親密圏と公共圏』（仮題）に落ち着き、また総括の議論を通じて、日本社会の研究と韓国社会の研究の質的な違いやアプローチの違い等が浮かび上がった。

本次世代ユニットの研究成果をまとめた書籍の出版に向けて、相互査読を通じた各論文のブラッシュアップを行った。現在、本次世代ユニットの研究成果は、『コリアン・ディアスポラの経験と現在(仮題)』（共編者:松田素二・鄭根埴）という書籍として、2011 年度中の出版を目指している。その書籍には、国際学術ワークショップ「コリアン・ディアスポラの親密圏の公共圏」にて報告した韓国の大学の若手研究者による論文も含まれている。なお、それぞれの論文タイトルは以下の通りである。

「在日朝鮮人の居住と共同性——『不法占拠』という地平からの一考察」（山本崇記）、「日本人 - 在日朝鮮人の関係性のあり方の一考察——京都・九条オモニ学校(1970-1980 年代)における教師の主体に着目して」（山根実紀）、「民族間結婚による共同体的『近さ』の再編——2 人の在日朝鮮人男性の『特殊』な結婚事例から」（橋本みゆき）、「在日朝鮮人 - 日本人間の〈親密な公共圏〉形成——『パラムせんだい』における『対話』の成立条件検討を通じて」（山口健一）、「多様性と相互行為する『在日朝鮮人』アイデンティティ——在日 3 世学生たちの学びの運動を事例として」（孫片田晶）、「在日朝鮮人のナショナル・アイデンティティを再考する——3・4 世朝鮮籍者の『共和国』をめぐる語りを手がかりに」（李洪章）、「祖国とディアスポラ——1970 年代韓国映画における在日朝鮮人表象」（金泰植）、「『見えない朝鮮族』から読み取るエスニシティ論の地平——日本の主要な新聞報道を手掛かりに」（権香淑）、「経済的インセンティブと『道具的民族主義』——韓国滞留朝鮮族を中心に」（朴祐）、「『同胞』の中の境界——韓国社会と在日朝鮮人の関係をめぐる省察」（趙慶喜）「在外同胞法と在韓外国人の法的地位変遷の関係性」（佐藤暁人）「1970 年代在日同胞母国訪問事業に関する政治社会学的研究」（金成姫）

**【通信欄】**

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代 <input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット <input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究		
経費	予算額	800（千円）	実績額 796.310

様式 2

最終成果報告書（ワーキングペーパー）のホームページ公開に関する許諾書

研究成果タイトル

在日朝鮮人／在韓中国朝鮮族社会における親密圏・公共圏の変容

グローバル COE プログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」に提出する上記の最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）の PDF ファイルを同プログラムのホームページに公開することについて、下記のように返答します。

2011 年 4 月 25 日

最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）の執筆者全員のお名前（自署捺印）

記

- 許諾する。
- 部分的に許諾する。  
許諾する部分を具体的にご記入ください。
- 下記の理由により許諾しない。
  - 調査対象者の個人情報保護のため
  - その他（具体的に理由をご記入ください）

本成果報告書は、出版予定の書籍『コリアン・ディアスポラの経験と現在(仮題)』における、本次世代ユニットのメンバーたちの執筆論文をそのまま掲載したものである。そのため、それを公開することは、出版された商業誌にとって、不都合が生じるため、許諾しないよう申請することにした。